

令和八年度 入学式 式辞

桜が咲き、新緑が眩しく映える春爛漫のこの良き日、本校に入学された生徒の皆さん、入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。また、本日は多くの御来賓ならびに保護者の皆様の御臨席を賜り、令和八年度入学式を挙げていただけますこと、厚く御礼申し上げます。

本校は令和六年度に創立五十周年を迎え、この間、一万二千人を超える卒業生が巣立ち、各方面において活躍しております。本校が大切にしてきたのは、学力の向上のみならず、個性と創造力を伸ばし、心身ともに健全で、社会に貢献できる人材を育成することです。日々の授業はもちろん、部活動や学校行事、地域との関わりなど、多様な学びの場を通して、生徒一人一人が自らの可能性を伸ばせる学校でありたいと考えております。新入生の皆さんには、野津田高校の新たな歴史を担う一員として、次の五十年に向け、志高く歩みを進められることを期待いたします。

さて、新入生の皆さん。皆さんは本日から、高校生としての新たな生活を開始します。この三年間は、これまで以上に、自ら考え、判断し、行動することが求められる時間です。高校生活には、学習、部活動、学校行事、友人との関わりなど、多くの経験が待っています。その一つ一つに主体的に向き合う姿勢が、皆さん自身の成長を確かなものにします。これからの時代は変化が激しく、将来を正確に見通すことは容易ではありません。そのような時に大切なのは、「自分の道は自分で切り開く」という覚悟をもつことです。誰かに与えられた正解を待つのではなく、自分は何を大切に、どこへ向かおうとしているのかを考え続けてください。思いどおりにいかないことや、迷い、悩む場面もあるでしょう。しかし、そうした経験こそが皆さんを内面から鍛え、次の一步を踏み出す力となります。その際、ぜひ意識してほしいのが「目標をもつこと」です。目標は最初から大きなものである必要はありません。日々の学習での小さな目標、部活動での一つの挑戦、人としてこうありたいという思いでも構いません。目標をもつことで自分の現在地を知り、進む方向を見定めることができます。目標は、皆さんが迷ったときに立ち戻る指針となり、努力を積み重ねる原動力となるはずです。加えて、高校生活で身につけてほしい力がもう一つあります。それは、他者と協働しながら物事を前に進める力です。意見の違いに向き合い、相手の立場を理解し、自分の考えを言葉で伝え、折り合いを付けていく経験は、必ず皆さんの財産になります。また、挑戦した結果を振り返り、うまくいかなかった理由を考え、次の工夫につなげることも大切です。失敗を恐れず、学びに変えていく姿勢こそが、変化の激しい時代を生き抜く確かな力となります。また、皆さんは三年後、高校を卒業する頃には成人を迎えます。大人になるということは、自由が広がる一方で、自らの言動に責任をもつ存在になるということです。自分の考えをもち、他者の立場を理解し、社会の一員として行動する力が求められます。本校での学びや日々の学校生活を通して、知識や技能だけでなく、判断力や誠実さ、困難に向き合う強さを身につけてほしいと願っております。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日は、お子様の御入学、誠におめでとうございます。高校の三年間は、これからの人生を決定づける極めて重要な時期であります。しかし同時に、最も多感で、悩みや葛藤を抱えやすい時期でもあります。お子様が自ら進路を切り拓いていけるよう、教職員一同、誠心誠意、支えてまいります。併せて、学校とご家庭がそれぞれの役割を果たし、緊密に連携して信頼を深め、お子様の豊かな個性を伸ばしていけますよう、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新入生の皆さんの高校生活が実り多く、将来へと確かにつながるものとなることを祈念し、式辞といたします。

令和八年四月七日 東京都立野津田高等学校長

赤池 知足